

TOPPAN



TOPPAN STORY

トッパン・ストーリー

株主通信 Vol.95 December 2020
第175期 報告書 2020年4月1日から2020年9月30日まで



CONTENTS

連結財務ハイライト	2
株主の皆さまへ	3
特集	4
TOPPAN 6months	6
セグメント別概況	8
株式情報・会社概要	10
株主メモ・Information	11

連結財務ハイライト

1株当たり株主配当金 〔中間〕

20円
(年間40円予定)

中間配当金につきましては、
1株当たり20円とし、年間
では40円の配当を予定して
います。

詳細は、IR情報ウェブサイトを
ご覧ください。

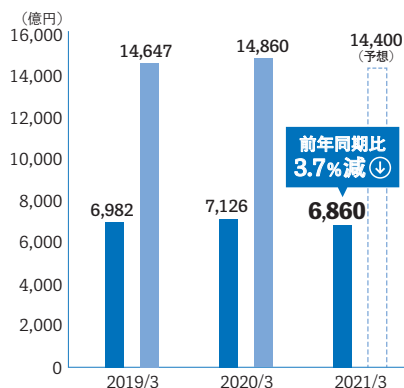


<https://www.toppan.co.jp/ir/>

■ 第2四半期累計 ■ 通期

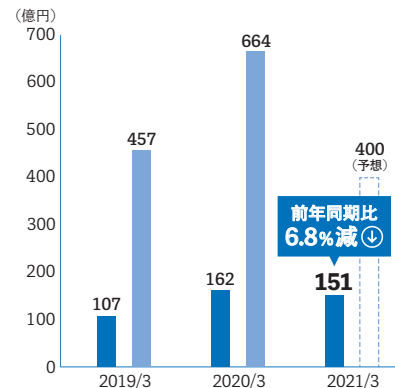
売上高

6,860
億円



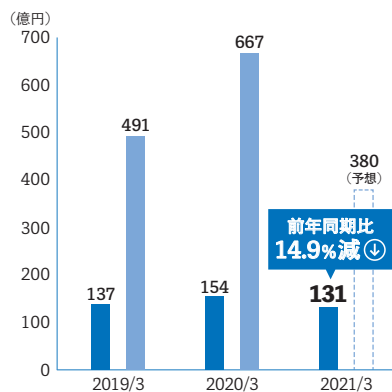
営業利益

151
億円



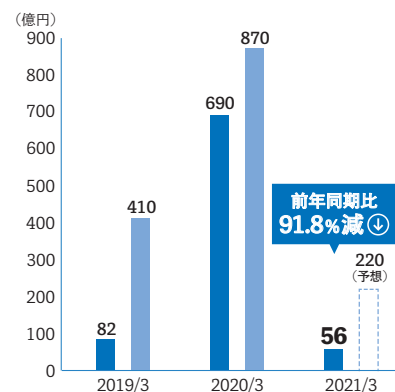
経常利益

131
億円



親会社株主に帰属する 当期純利益

56
億円



※ 前第3四半期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前第2四半期の数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させています。

株主の皆さまへ

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第175期第2四半期連結累計期間(2020年4月1日から2020年9月30日まで)のトップグループの業績概況につきまして、ご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大に対する各種政策の効果もあり持ち直しの動きが見られますが、依然として厳しい状況にあります。通商問題を巡る海外経済の不確実性、金融資本市場の変動影響など、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く環境におきましても、新型コロナウイルス感染拡大の影響による個人消費の低迷や企業活動の停滞、またデジタルシフトの加速によるペーパーメディアの減少など依然として厳しい経営環境ではありますが、その一方で、オンライン需要の増加など人々の生活様式の変化に伴う新たな需要も生まれています。

このような環境のなかで当社グループは、安定した財務基盤を確保しながら新たな収益モデルを早期確立すべく、新規事業では積極的に経営資源を投入し、既存事業ではさらなる技術開発強化やコスト削減を行うなど競争優位性の確立を推進してまいりました。加えて、「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に向けて、新たにSDGs推進体制を構築するとともに、基本的な考え方をまとめた「TOPPAN SDGs STATEMENT」に基づく

活動に積極的に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期比3.7%減の6,860億円、営業利益は6.8%減の151億円となりました。また、経常利益は14.9%減の131億円、親会社

株主に帰属する当期純利益は91.8%減の56億円となりました。なお、中間配当金は1株当たり20円とし、年間配当金は40円を予定しております。

今般の新型コロナウイルス感染拡大により人々の生活や価値観は大きく変化し、社会のデジタル化も急加速しています。当社グループはこうした社会の変化を着実にとらえ、ビジネスモデル変革を遂行するとともに、「社会的価値創造企業」を目指して企業価値向上に努めてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2020年12月



代表取締役社長 磨 秀晴

ウィズコロナ／アフターコロナを見据えたトッパンの取り組み

世界的な新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、人々の価値観や産業構造にも大きな変化・変革をもたらしています。日常生活では一人ひとりの感染対策と、公共の場での感染拡大予防を意識した行動やマナーが求められ、働き方においてはテレワークの導入など新たな働き方のスタイルが広がりを見せています。こうした「新しい生活様式」に対応し、社会全体が変わろうとする潮流をトッパンは変革の契機ととらえ、イノベーションとアクションを加速しています。

今回は、ウィズコロナ／アフターコロナを見据えたトッパンのさまざまな取り組みについて、直近の事例の中からその一部をご紹介します。

事例 1 高まる製造現場のデジタル化ニーズに応える

● 製造DX支援ソリューション「NAVINECT (ナビネクト)」

新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、社会を大きく変化させ、特に「遠隔」「非対面」「非接触」に関連したデジタルサービスへのニーズは急速に高まっています。この流れを受け、企業の製造現場におけるデジタル化も、大企業、中小企業を問わず大きな課題となっています。

こうした課題に対し、トッパンではこれまでも「T-DX(トッパン・デジタルトランスフォーメーション)^{*1}」をコンセプトに急速な社会のデジタル化に対応した製品・サービスを展開してきましたが、今、その一つである製造DX支援ソリューション「NAVINECT」は、特に需要が旺盛です。トッパンの製造現場におけるデジタル技術・ノウハウを駆使し、ウィズコロナ／アフターコロナ時代の製造現場を支えるサービスとして期待されます。トッパンでは、今後も製造現場のデジタル化に加え、流通、購買などサプライチェーン全体における顧客のデジタル化支援により一層注力し、「T-DX」を推進していきます。

^{*1} 社会のデジタル化の加速に対応し、トッパンのすべての事業・業務をデジタルを起点として(デジタル技術やデータの利活用により)変革するというトッパン独自のコンセプトのこと。



「NAVINECT」は、製造工程のデジタル化により顧客企業の生産性向上、品質向上、作業効率化等を支援する製造DX支援ソリューションです。自社製造拠点におけるデジタル化の取り組みで培った数々のシステム・ノウハウを駆使し、多業種・多業界の製造現場が抱える個別課題に合わせて、システムの設計、開発、導入・運用を最適な形にカスタマイズし、トータルでサポートします。2020年5月には、クラウド上で提供する「NAVINECTクラウド」の販売も開始しました。

事例2 感染拡大防止や新たな生活様式に対応する製品・サービスの提供

● イベント向け感染症対策ソリューション ● 抗菌剤入りカード

ウィズコロナ／アフターコロナ時代に向けて、より一層の感染症対策の徹底が求められ、また新たな生活様式に対応する製品・サービスへのニーズも高まっています。トッパンでは、たとえば今後の各種イベントにおいて、AIカメラによるマスク装着・発熱検知・混雑検知サービスや、感染発生情報のLINEを活用した配信サービスなど、イベント向け感染症対策ソリューションを提供し、事業者・来場者双方にとって安全・安心なイベントの開催を支援します。

また、高まる環境衛生へのニーズに対応するため、菌の繁殖を抑える「抗菌剤入りカード」の生産体制を強化しました。衛生的で安全・安心なカード決済の支援につながり、厚生労働省が公表した「新しい生活様式」の実現にも貢献します。



抗菌剤入りカード

事例3 社内研修・イベントのオンライン化を推進

● 新入社員オンライン研修 ● 「夏休み親子アートサロン」オンライン開催

トッパンでは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、定期大卒新入社員研修を完全オンライン形式で実施しました。テクノロジーを駆使したオンラインならではのプログラムに加え、アプリを活用したコンディション管理により社員のパフォーマンス向上を目指すなど、オンラインのメリットを最大限に活かした内容で行いました。

また、ダイバーシティ&インクルージョンの取り組みとして、社員とその子どもたちを対象に、グループ会社の(株)芸術造形研究所と共同で毎年実施している臨床美術^{※2}のワークショップ「夏休み親子アートサロン」も今年はオンラインで開催しました。ウィズコロナ／アフターコロナ時代を見据えた新たな形を模索し、積極的に取り組んでいます。

※2 独自のアートプログラムに沿って創作活動を行うことにより脳を活性化し、認知症改善を目的として1996年に開発されたアートプログラムメソッドのこと。現在では社会人のメンタルヘルスケアの分野においても活用されています。



「夏休み親子アートサロン」の様子

2020
4 → 9月

- 4月 7日 凸版印刷、住友重機械エンバイロメント、トータルケア・システムの3社が使用済紙おむつのリサイクルで協業開始 **ESG**
- 4月 10日 日本初 世界最高水準のホログラム製造認証を取得
- 4月 20日 長野県に次世代DX開発拠点 第一弾を新設 **1**
- 4月 28日 紙素材を使用したチューブ型パウチを開発 **2** **ESG**
- 5月 20日 凸版印刷とベルシステム24、DX支援BPO新会社を設立 **3**
- 5月 21日 製造現場のDXをクラウドで支援 **特集 ▶ P.4**
- 6月 22日 「SOMPOサステナビリティ・インデックス」に9年連続で選定 **ESG**
- 6月 25日 同性パートナー制度を導入 **ESG**
- 6月 26日 「ZETAスターターパック」提供開始
- 6月 29日 99%以上菌の繁殖を抑える抗菌剤入りカードの生産体制を強化 **特集 ▶ P.5**



1



2



TB ネットコミュニケーションズ

3

ESG

2020年7月22日発表

MSCIやFTSE Russellが提供する世界的ESG投資インデックスの構成銘柄に継続選定

当社は、世界的なESG投資インデックスである「MSCI ESG Leaders Indexes」「MSCI日本株女性活躍指数 (WIN)」「FTSE4Good Index Series」「FTSE Blossom Japan Index」に、昨年度に引き続き継続選定されました。

なお、上記インデックスのほか、「DJSI (Dow Jones Sustainability Indices)」の「World Index」「Asia Pacific index」をはじめ、多くのESG投資指標の構成銘柄にも選定されており、ESG全般の取り組みが高く評価されています。

今後もステークホルダーとともに、「社会的価値創造企業」を目指して、持続可能な社会の実現に向けて取り組みを強化していきます。



2020 CONSTITUENT MSCI日本株女性活躍指数 (WIN)



FTSE4Good



FTSE Blossom Japan

ESG 環境 (Environment)、社会 (Social)、ガバナンス (Governance) 関連の取り組み

6月30日 使用済みプラスチックの再資源化事業に取り組む新会社
「株式会社アールプラスジャパン」に出資 **ESG**

7月17日 イベント向け感染症対策ソリューションを提供 **特集 ▶P.5**

7月22日 MSCIやFTSE Russellが提供する
世界的ESG投資インデックスの構成銘柄に継続選定 **ESG**

8月 7日 トッパングループのおかびファーマシー、薬の当日配達を開始 **4**

8月19日 多様な学習体験を統合した新ICT学習サービス「navima」を開発 **5**

8月26日 「夏休み親子アートサロン」をオンラインで実施 **特集 ▶P.5** **ESG**

9月 1日 住空間・商業施設向け空間演出ブランド「expace」を展開

9月 2日 国内初 抗ウイルス・抗菌加工の化粧シートがSIAA認証を取得

9月11日 「できるーと」が第14回キッズデザイン賞を受賞 **6**

9月11日 オンライン展示会プラットフォーム「V-MESSE」提供開始

お薬デリバリー
とどくすり薬局

4



navima ナビマ

5



6

2020年9月2日発表

国内初 抗ウイルス・抗菌加工の化粧シートがSIAA認証を取得

当社は、住宅をはじめ、商業施設や医療施設、公共施設などの建築物や、家具・什器などの表面に使用される化粧シートを製造・販売しています。このたび、表面に付着したウイルスや菌の数を著しく減少させることが可能なオレフィン製の化粧シートを開発しました。

本製品は、表面に抗ウイルスと抗菌、両方の性能を有する特殊コーティングを施しており、第三者認証機関であるSIAA（抗菌製品技術協議会）の認証を取得しました。抗ウイルス加工と抗菌加工、両方の認証を取得したオレフィン製化粧シートは国内初です。

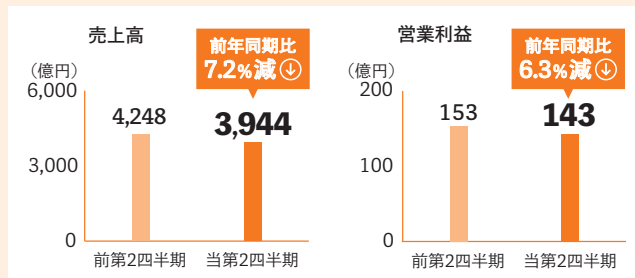
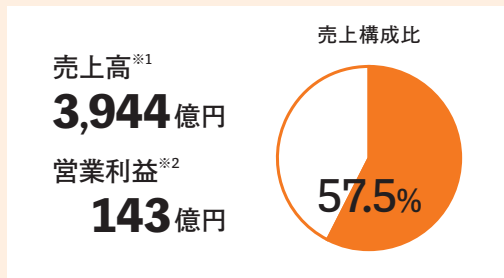
当社は、今後も化粧シートの高機能化を推進し、国内のみならず海外市場へも積極的に拡販を進め、売上拡大を目指していきます。



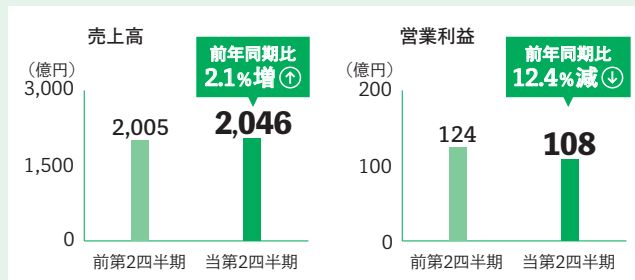
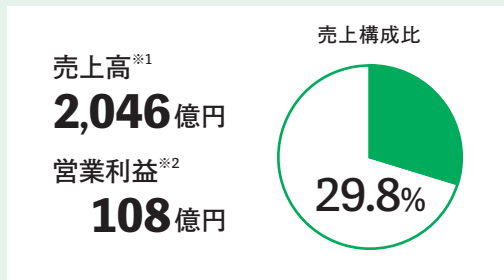
抗ウイルス加工・抗菌加工化粧シートで施工した室内のイメージ

セグメント別概況

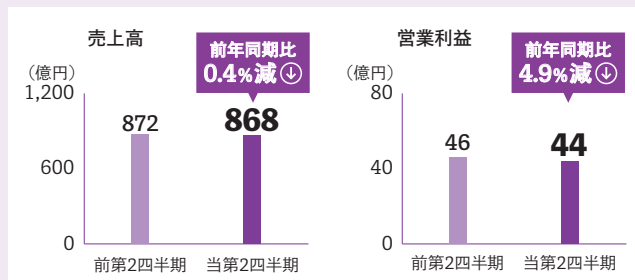
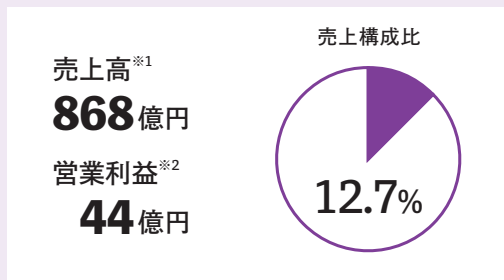
■ 情報コミュニケーション事業分野



■ 生活・産業事業分野



■ エレクトロニクス事業分野



※1 外部顧客への売上高 ※2 全社費用調整前の数値で計算しています。

セキュア関連は、海外のカード会社買収による増収、また国内のICカードが好調に推移した一方、ビジネスフォームやデータ・プリント・サービスは減収となりました。コンテンツ・マーケティング関連は、出版印刷は雑誌が引き続き減少し、SP関連ツールおよび商業印刷はイベント中止・延期などの影響を受け、減収となりました。BPO関連は、企業のアウトソーシング需要増加により好調に推移しました。以上の結果、情報コミュニケーション事業分野全体では減収減益となりました。



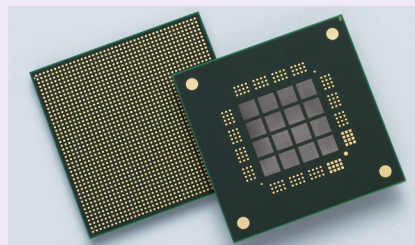
セキュア関連製品

パッケージ関連は、軟包装材は衛生製品や加工食品向けが堅調に推移した一方、外食向けが減少し、わずかに減収となりました。紙器もインバウンド需要の低迷により、減収となりました。建装材関連は、国内は店舗・ホテルなどの新規オープンや改装延期の影響を受けるなど厳しい状況にありましたが、欧州大手建装材メーカーであるINTERPRINT社の買収効果により、増収となりました。以上の結果、生活・産業事業分野全体では増収減益となりました。



軟包装材（加工食品向け）

半導体関連は、オンライン需要の拡大でサーバーやメモリ、通信用などを中心に需要が下支えされ、フォトマスクやFC-BGA基板は好調に推移しました。ディスプレイ関連は、カラーフィルタは車載向けを中心に需要が低迷し減収となりましたが、反射防止フィルムは高付加価値品を取り込み増収となりました。中小型TFT液晶パネルは、車載向けなどの需要低迷により減少しました。以上の結果、エレクトロニクス事業分野全体では減収減益となりました。



FC-BGA基板

株式情報

2020年9月30日現在

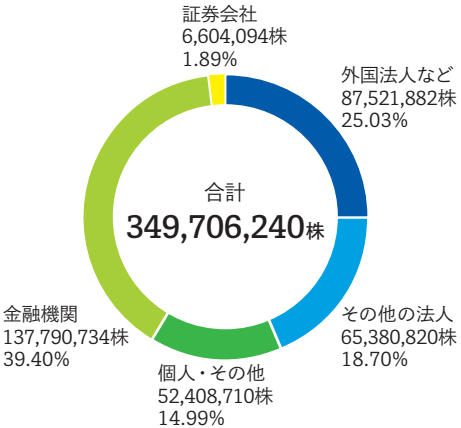
発行済株式数 349,706,240株
株主数 38,467名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	32,910	9.44
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	20,087	5.76
日本生命保険相互会社	15,002	4.30
東洋インキSCホールディングス株式会社	9,492	2.72
第一生命保険株式会社	9,154	2.63
株式会社日本カストディ銀行(信託口9)	8,025	2.30
従業員持株会	7,027	2.02
株式会社講談社	6,710	1.93
株式会社日本カストディ銀行(信託口5)	5,892	1.69
凸版印刷取引先持株会	5,805	1.67

※持株比率は、発行済株式の総数から自己株式数を控除して計算しています。
※日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社は、2020年7月27日付で株式会社日本カストディ銀行に
名称変更しています。

株式分布状況(所有者別)



※自己株式1,157千株は「個人・その他」に含まれています。

会社概要

2020年9月30日現在

社名 凸版印刷株式会社
本社事務所 〒101-0024
東京都千代田区神田和泉町1番地
電話：03-3835-5111(代表)
URL：https://www.toppan.co.jp/
会社設立 明治33年1月17日
株式会社に組織変更 明治41年6月4日
資本金 104,986,430,314円
従業員数 連結 53,179名

取締役および監査役

代表取締役会長	金子 眞 吾	取締役常務執行役員	坂 井 和 則
代表取締役社長	磨 秀 晴	取締役常務執行役員	齊 藤 昌 典
代表取締役副社長執行役員	大久保 伸一	取締役執行役員	黒 部 隆
取締役副社長執行役員	前 田 幸 夫	社外取締役	野 間 省 伸
取締役専務執行役員	新 井 誠	社外取締役	遠 山 亮 子
取締役専務執行役員	江 崎 純 生	社外取締役	中 林 美 恵 子
取締役専務執行役員	植 木 哲 朗	常任監査役	高 宮 城 實 明
取締役専務執行役員	山 野 泰 彦	監 査 役	久 保 蘭 到
取締役常務執行役員	中 尾 光 宏	社外監査役	重 松 博 之
取締役常務執行役員	小 谷 友 一 郎	社外監査役	垣 内 恵 子
		社外監査役	笠 間 治 雄

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日	1単元の株式の数	100株
定時株主総会	毎年6月	公告の方法	電子公告により当社ホームページ (https://www.toppa.co.jp/)に掲載 いたします。 なお、やむを得ない事由により電子公告 によることができない場合は、官報に掲載 いたします。
株主確定基準日	定時株主総会・期末配当 3月31日 中間配当を行う場合 9月30日 その他必要ある場合は、あらかじめ公告いたします。	上場金融商品取引所	東京証券取引所
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社	証券コード	7911
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部		
・お問い合わせ先	TEL 0120-232-711 (フリーダイヤル)		
・郵送先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号		

〈株式に関するお手続きのご案内〉

お手続き・ご照会の内容	対 象	お問合せ先
ご住所・お名前などの変更 単元未満株式の買取・買増請求 配当金の受取方法・振込先のご変更 マイナンバーに関するお届出・お問合せ	証券会社に口座を開設されている株主さま	口座を開設されている証券会社
	証券会社に口座を開設されていない株主さま (特別口座)	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-232-711 (フリーダイヤル)
郵送物の発送などに関するご照会 支払期間経過後の配当金に関するご照会 株式事務に関する一般的なお問合せ	全ての株主さま	

Information

▶ 印刷博物館からのお知らせ

2020年10月6日 / 常設展リニューアルのご案内

開館20周年を迎え、常設展をはじめ施設を刷新しました。新しい常設展は、「印刷の日本史」を中心に、「印刷の世界史」や技術展示「印刷×技術」の3つのゾーンからなります。ぜひご来館ください。

開館時間 10:00～18:00

休 館 日 毎週月曜日 (ただし祝日 / 振替休日の場合
はその翌日)、年末年始

※新型コロナウイルス感染症対策として、当面の間、入場者数の制限、および入館事前予約制を導入しています。
詳細は印刷博物館ウェブサイト (<https://www.printing-museum.org>) をご確認ください。



企画展示

- P&Pギャラリー「世界のブックデザイン2019-20」展
会期 2020年12月12日 (土)～2021年4月18日 (日)
- 展示室「和書ルネサンス」展
会期 2021年4月17日 (土)～7月19日 (月・祝)

▶ 株主優待カレンダーについて

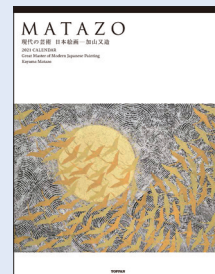
当社では、2020年3月末の時点で5単元株 (500株) 以上をお持ちの方で、お申し込みをされた株主の皆さまへ、株主優待カレンダーを進呈しています。今回は「現代の芸術 日本絵画ー加山又造」と題し、近現代の日本画壇を代表する巨匠の一人、加山又造の作品をお楽しみいただけるカレンダーを、12月上旬頃にお届けする予定です。なお、万一、12月中旬を過ぎても届かない場合は、下記の電話番号までお問い合わせください。

電話番号 048-483-8500

受付期間 2021年1月22日 (金) まで

受付時間 9:00～17:00 (月～金曜日)

※土・日・祝日および年末年始 (12/29～1/3) は除く。
※メールでのお問い合わせは受け付けておりません。



2021年版株主優待カレンダー (デザインは変更になる場合があります。)

表紙について

オリジナル高品質4K映像コンテンツ「Meet Japan!」より

光り輝く氷の芸術「ジュエリーアイス」

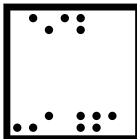
(撮影地：北海道)

自社の映像クリエイターが撮影した日本各地の美しい風景等のオリジナル高品質4K映像コンテンツ「Meet Japan!」より、今号は北海道の厳しい冬の自然が生み出す氷の芸術「ジュエリーアイス」の美しい風景をお届けします。



表紙の映像を
ぜひ「AReader」でご覧ください。

スマートフォンなどを使って、「App Store」「Google Playストア」でアプリ「AReader」を検索し、ダウンロード（無料）。「AReader」を起動し、右記のARマーカにかざすと表紙に関連する映像がご覧いただけます。



※本画像は、高品質4K映像（Printeractive 4K）から切り出したものです。



Meet Japan!



120th Anniversary

このロゴマークは、2020年にトッパンが創立120周年を迎えたことをあらわすため、作成されました。カラフルなデザインは、当社の三意主義「誠意、熱意、創意」の色に加え、「人財」やビジネスのこれからの可能性、拡がり表現しています。

凸版印刷株式会社

〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町1番地
<https://www.toppan.co.jp/>

